



日本女性の髪に彩りを

株式会社イノウエ 相模原市緑区鳥屋

相模原から全国に

女性なら誰も使ったことがあるヘアゴム。コンビニや雑貨店など、どこでも手に入るこの商品の多くが実は日本製だと聞くと驚かれるのではないだろうか。イノウエは、ヘアゴム市場の約6割を占め国内トップシェアを誇る、相模原のモノづくり企業である。

今でこそ当たり前のように販売されている色鮮やかなヘアゴムや、つなぎ目の目立たないヘアゴム（ハップリング）は、同社が日本で初めて開発した商品である。相模原市のモノづくり企業が日本中の女性の髪の色を彩る一翼を担っているのだ。ヘアゴムに限らず、ストラップ用のひもやマスクのゴム、新体操用のロープなど多岐に渡る製品を世に送り出している。

商品開発について井上旭社長は「便利になった世の中で、今までにない物をつくり上げて行くことが大事」だと語る。最近では男性用のヘアゴム生産にも着手しており、誰もが知らないうちに同社の製品を使っていることだろう。

同社では、製品検査を厳しく行ったり、有害な物質を含まない証明となる国際基準「エコテックス規格100」*を取得するなど、

消費者が安心できる製品づくりを心掛けており、製品の安全性に対して大きな自信を持っている。その安心・安全へのこだわりが消費者からの高い信頼につながっているのだ。

ヘアゴムのつくり方

安価な製品なので、全ての製造工程が全自動になっていると思われるかもしれないが、そんなことはない。製品へのこだわりを支えているのは、全自動の機械にはできない、一見地味な人手による作業にあった。

ヘアゴムの製造は、ナイロンやポリエステルから成る糸を、ゴム糸に巻き付けて「ゴムひも」をつくることから始まる。できあがったゴムひもは、それぞれが所定の長さに切りそろえられるのだが、次の工程に驚かされる。

1ヵ月に160万本のヘアゴムが生産されており、その全ては手作業で接着されているのだ。多い人では1ヵ月に3万本近く接着するというから感服する。機械にはない、人の手の微妙な感覚が、接着面の強度や美しさを確保しているのだという。できあがった製品は強度検査を受け、6〜7kgの荷重に耐えられる事を確認

料を取りに来た際に会話が生まれたり、家で子供の様子を見ながら仕事ができたりするので、大変好評なようである。

業務を効率化したい企業側と、自宅で作業をしたい主婦との、両者のニーズが上手くマッチングした事によって実現している内職さん。同社にとってはなくてはならない戦力だ。

株式会社イノウエの“中身”とは

イノウエが誇るのは内職さんの活躍だけではない。内職さんをはじめ、社員にも優しい企業でありたいと言う基本理念が、同社を支えている。

「花見の時は、社員とその家族も一緒に楽しく過ごす」一。井上社長は、社員ありきの企業経営を第一に考え、いかにすれば社員のやる気を促し、幸せをサポートできるのかと、日々心を砕いている。例えば、毎月行われる全体会議では、井上社長自らが社員の功績を称えて、褒める。大きな事から小さな事まで、褒める。

さらに、月の売上とゴミの量も社員に公開している。明確に売上とゴミの量を示し、ゴミを減らせれば、その分がさらに利益につながるという考え方だ。こうする事によって、ゴミ減量による地球環境の保護と社員のやる気の問題を、一度に解決している。

これには、正直舌を巻いた。そこには井上社長の環境に対する意識と、社員に誇りを持って良い商品を作り続けてもらいたいという情熱が見え隠れしている。井上社長が社員を見つめる眼差しは、太陽のように温かい。

自分の商品を買ってくれる顧客は、いつか離れていくかもしれない。しかし、社員は常にイノウエと共に歩んでいる。その社員一人ひとりを大切にすることで会社は成長してゆくという井上社長の考えは、とても心温まる。社長自身が“女性の象徴”である美しい髪と、その髪を彩るヘアゴムにこだわり愛情を注ぎ続ける限り、同社の春の花見は毎年、温かく盛り上がり続けるだろう。

※ エコテックス規格100
健康面で安心できる繊維製品である事を世界的に保証する規格
イノウエが取得したクラス1は最も厳しい試験であり、生後24ヵ月未満の乳幼児が用いても安心な繊維製品である事を保証している。

企業からのメッセージ
その時々の日本経済や世の中の動き、世界経済などをキャチし、自己アピールすることが大事です。
「人の心を動かせるのはあなた自身の心です」
(株式会社イノウエ 井上旭)

株式会社イノウエ

所在地 相模原市緑区鳥屋750番地
代表者 井上 毅
資本金 2,000万円 創業 1928年 従業員数 32名
事業内容 ゴムひも・手芸用組ひも製造販売、産業資材、衣料、装粧品、装飾、包装
電話(代表) 042(785)0136
ホームページ http://www.inoue-braid.co.jp/

担当 成田遥 小泉智洋